

テキサス州西部地区における判事無作為割当て命令後の特許訴訟提起動向

2022年9月23日
JETRO NY 知的財産部
石原、福岡

テキサス州西部地区連邦地方裁判所の Waco 支部に提起される特許訴訟が、2022年7月25日以降、同地区内の判事に無作為に割り当てられることとなったことを受け¹、特許訴訟の提起の動向が注目されている。従来は、特許訴訟を提起した特許権者にとって有利な訴訟進行をする Albright 判事がいる Waco 支部に多数の特許訴訟が提起され、議論を呼んでいた。2021年11月には、Thom Tillis 上院議員（ノースカロライナ州選出、共和党）および Patrick Leahy 上院議員（バーモント州選出、民主党）が特許訴訟の Waco 支部への過度な集中を問題視し、最高裁判所の John Roberts 首席判事に検討を要請していた²。

Unified Patents 社データベース「Portal」³に収録されているデータに基づいて主な6つの訴訟地区に提訴された特許訴訟の件数および全連邦地裁に占める割合を分析すると以下のとおりとなっている。2022年7月25日から8月31日までおよび前年同期間を分析した。

主な訴訟地区	2022. 7/25-8/31		2021. 7/25-8/31	
	件数	全体に占める割合	件数	全体に占める割合
デラウェア州地区	87	19.9%	103	22.0%
テキサス州東部地区	60	13.7%	54	11.5%
テキサス州西部地区	59	13.5%	107	22.8%
カリフォルニア州北部地区	39	8.9%	25	5.3%
カリフォルニア州中央地区	21	4.8%	21	4.5%
イリノイ州北部地区	18	4.1%	12	2.6%
全体（全連邦地裁）	438	-	469	-

テキサス州西部地区の訴訟件数は前年同期間の107件から59件にほぼ半減した。全体に占める割合も22.8%から13.5%に減少した。同地区への提訴が一定数残っているのは、Albright 判事に割り当てられる可能性が残されていることが理由との見方がある。

デラウェア州地区は全連邦地裁436件の訴訟のうち87件、全体の20%近くを占め、前年同期間より件数は減ったものの他のどの裁判所よりも多かった。多くの企業がデラウェア州で法人格を取得しているため、同地区が訴訟の適切な裁判地であることを立証することが難しくなく、また、特許訴訟の経験の多い判事が在籍することから、同地区への提訴が今後数カ月で大きく増加するだ

¹ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2022/20220729.pdf

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2021/20211115.pdf

³ <https://portal.unifiedpatents.com/litigation/caselist>

ろうとの見方もある。

次に多いのはテキサス州東部地区で 60 件、テキサス州西部地区と 1 件の差で続いている。テキサス州東部地区、カリフォルニア州北部地区といった特許訴訟に精通した判事が在籍する地区への訴訟件数が昨年同期間より増加しており、今後も増加すると予想されている。

全連邦地裁の訴訟件数が 469 件から 438 件と 7.9%減少していることについては、現在はどの地区に提訴するかという戦略を立てている段階であり、今後数カ月から 1 年の期間で影響を分析する必要があるとの見方もある。

テキサス州西部地区における判事無作為割当て命令を発した同地区首席判事は 2022 年 11 月に交代するため、命令が廃止または変更されるかどうか注目されている。

(以上)